

青梅市の農業に関する農家アンケート調査（案）

調査票

【あなたとご家族についてお聞きします】

問1 あなたの性別はどちらですか。1つ選んでください。

1. 男 2. 女

問2 あなたは何歳ですか。1つ選んでください。

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代
7. 80代以上

問3 あなたを含めて同居（同一敷地内を含む）している家族構成はどれですか。1つ選んでください。

1. 一人暮らし 4. 祖父母と親と子どもの3世代家族
2. 夫婦のみの世帯 5. その他（.....）
3. 親と子どもの2世代家族

問4 あなたを含めて同居している家族の人数を1つ選んでください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人
7. 7人以上

問5 あなたのお住まいを以下から1つ選んでください。

回 答	詳 細
1. 霞地区	根ヶ布、東青梅、師岡町、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、新町、末広町、藤橋、今井
2. 調布地区	千ヶ瀬町、河辺町、友田町、長淵、駒木町
3. 吉野地区	畑中、和田町、梅郷、柚木町
4. 三田地区	二俣尾、沢井、御岳本町、御岳、御岳山
5. 小曾木地区	富岡、小曾木、黒沢
6. 成木地区	成木
7. 青梅地区	勝沼、西分町、本町、上町、仲町、住江町、滝ノ上町、森下町、裏宿町、天ヶ瀬町、大柳町、日向和田
8. その他	（.....） ←上記に当てはまらない場合

問6 あなたも含めて家族の中で、年間 60 日未満、年間 60～149 日、150 日以上農業に従事している方の人数を記入してください。

	男性		女性	
	総数	うち 60 才未満	総数	うち 60 才未満
年間 60 日未満	人	人	人	人
年間 60～149 日	人	人	人	人
年間 150 日以上	人	人	人	人

【農業生産・販売についてお聞きします】

問7 あなたが生産している農畜産物について、該当するものを3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 稲作（水稻・陸稲） | 6. 施設野菜 |
| 2. 麦類（小麦・大麦等） | 7. 苗木 |
| 3. いも類（ばれいしょ・かんしょ） | 8. 植木・造園 |
| 4. スイートコーン | 9. 花卉（切花、鉢もの） |
| 5. 露地野菜 | 10. 茶（生葉） |
| 11. 果樹（かき、ぶどう、キウイフルーツ、なし、ユズなど） | |
| 12. 果樹（うめ、くり） | |
| 13. 乳用牛・肉用牛・養豚・養鶏 | |
| 14. シイタケ等の林産品（きのこ類・タケノコ） | |
| 15. 農産物加工品（.....） | |
| 16. その他（.....） | |

問8 現在、農畜産物の販売はどのような方法で行っていますか。また、今後どのような方法に力を入れたいですか。あてはまるものすべてを選んでください。

【現在】	【今後】
1. 市場・卸・仲買・問屋等に出荷	1. 市場・卸・仲買・問屋等に出荷
2. J A（農協）直売所に出荷	2. J A（農協）直売所に出荷
3. 畑や庭先販売・宅配・客からの直接注文による直売	3. 畑や庭先販売・宅配・客からの直接注文による直売
4. 生協や地元スーパー等へ出荷	4. 生協や地元スーパー等へ出荷
5. インターネット等の通信販売	5. インターネット等の通信販売
6. 観光農園で販売	6. 観光農園で販売
7. うね売りや株売り	7. うね売りや株売り
8. 契約販売	8. 契約販売
9. その他（.....）	9. その他（.....）
10. 販売していない・しない →問9へ	10. 販売していない・しない

問9 問8【現在】で、「10. 販売していない・しない」とお答えされた方におたずねします。どのような理由ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

1. 販売できるほどの量を生産していない
2. 販売できるほどの質と言えない
3. 労働力がない（高齢化や健康上の問題）
4. 主たる収入を得るための仕事が忙しい
5. 販売するまでの手続きがわからない
6. その他

問10 あなたは直売所（個人または共同）を持っていますか。1つを選んでください。

- | | | |
|-------------------------------|-------------------|--------------------------|
| 1. 持っている | →問11へ | 4. 持っていないし、今後持つことも考えていない |
| 2. 以前は持っていたが閉めた
(理由:.....) | 5. その他
(.....) | |
| 3. 今後、持ちたい | | |

問11 問10で「直売所を持っている」と答えた方にお聞きします。あなたの家の直売はどのような経営形態ですか。それぞれの項目について、1つを選んでください。

項 目	回 答		
◇開店日	1. 毎日	2. 特定日 (.....)	3. 不定期
◇開店時間	1. 決めている	2. 特に決めていない	
◇直売所の売手	1. 無人	2. 有人	
◇場所	1. 庭先	2. 農地のそば	3. その他 (.....)
◇売れ残り	1. 多い	2. 少ない	3. だいたい完売している

【農地についてお聞きします】

問 12 所有している農地について、あてはまる面積を記入してください。

農 地 の 状 況		市内の農地面積	市外の農地面積	合計面積	
所有している農地		アール	アール	アール	
市街化区域	生産緑地指定農地	アール	アール	アール	⇒ 問13へ
	生産緑地以外の農地	アール	アール	アール	⇒ 問14へ
調整区域	*農振農用地	アール	アール	アール	⇒ 問15へ
	農振農用地以外の農地	アール	アール	アール	⇒ 問16へ

* 農振農用地＝農業振興地域内農用地指定農地

参考：1 坪＝3.3 m² 1 反＝10 アール＝1,000 m² 1 町歩＝100 アール＝10,000 m²

◎ 市街化区域に農地を所有される方におたずねします

問 13 生産緑地指定農地をお持ちの方におたずねします。

今後の生産緑地について、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 生産緑地を継続したい（現状を維持）
2. 一部の生産緑地はやめたい（.....アール）
3. すべての生産緑地をやめたい

問 14 生産緑地以外の農地をお持ちの方におたずねします。

(1) 今後、生産緑地以外の農地をどうしたいとお考えですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 当面はすべて農地として利用したい（農地として貸すことも含む）
2. 生産緑地に編入したい
3. 一部は農地以外で活用したい
4. すべて農地以外で活用したい

(2) (1)で、3および4（農地以外で活用したい）とお答えされた方におたずねします。どのような用途に活用したいとお考えですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. 住宅用地（アパート・マンションなど）として利用したい
2. 駐車場として利用したい
3. 資材置場（倉庫を含む）として利用したい
4. いずれ売却したい
5. その他（.....）

◎市街化調整区域に農地を所有される方におたずねします

問 15 農振農用地をお持ちの方におたずねします。

- (1) 農振農用地であることに対して、あなたのお考えになることをいくつでも選んでください。

1. 安心して農業が続けられる
2. 基盤整備（農道・水路など）が整っている
3. 補助事業（補助金）により、基盤整備や経営の近代化ができる
4. 農業振興と自然保護ができる
5. 税金が安い
6. 市街化区域に比べ、生活環境整備が遅れている
7. 家が自由に建てられない
8. 農地が他に利用できない
9. 農振農用地として適当でない（理由：_____）
10. その他（_____）

- (2) 今後の農業振興地域および農用地指定の取扱いについて、どのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 農業振興地域および農用地（区域）の指定は現在のままでよい
2. 農業振興地域の指定は現在のままでよいが、農用地(区域)の指定は見直すべきだ
3. 農業振興地域の指定を一部見直すべきだ
4. 農業振興地域の指定は必要ない（指定をはずし、市街化調整区域または市街化区域でよい）
5. わからない
6. その他（_____）

問 16 市街化調整区域内に農振農用地以外の農地をお持ちの方におたずねします。

- (1) 今後、農振農用地以外の農地をどうしたいとお考えですか。あてはまるものを1つ選んでください

1. 当面はすべて農地として利用したい（農地として貸すことを含む）
2. 一部は農地以外で活用したい
3. すべて農地以外で活用したい

- (2) (1)で、2および3（農地以外で活用したい）とお答えされた方におたずねします。どのような用途に活用したいとお考えですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. 住宅用地（自己住宅・分家住宅）として利用したい
2. 資材置場として利用したい
3. 農家開設型農園等（農家が開設する）として利用したい
4. いずれ売却したい
5. その他（_____）

★全員の方におたずねします★

問 17 現在のあなたの家の農地についておたずねします。

- (1) 1年以上にわたって耕作を行っていない農地がありますか。面積の大小にかかわらず、あるなしをお答えください。

1. ある 2. ない

- (2) (1)で、1（ある）とお答えされた方におたずねします。その理由は何ですか。
あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. 農作業の人手がないため
2. 収益の上がる農作物が見つからないため
3. 面積が狭く、生産効率が悪い
4. 地形が悪く、耕作しづらいため
5. 農業用水の汚染、雨水の流入など土地条件が悪い
6. 薬材散布（農作物被害防除用）や施肥の際に、近隣からの苦情があり、農地の管理がしづらいため
7. その他（.....）

問18 今後、相続が発生した場合、あなたは土地をどのようにしたいとお考えですか。該当するケースについて、いくつでも選んでください。

1. 生産緑地を処分したい
2. 市街化区域の生産緑地以外の農地を処分したい
3. できれば市街化調整区域の農地を処分したい
（農地法第3条の許可を得て農地として売買することができれば）
4. 農地以外の用地（アパートや駐車場など）を処分したい
5. 土地は処分せずに対応したい
6. その他（.....）

問 19 相続に伴う農地の分割・維持について、1つ選んでください。

1. 農業や家を継ぐ子どもが相続し、できるだけ農地は維持したい
2. 農業や家を継ぐ子どもが大部分を維持するが、一部は分割相続させざるを得ない
3. 子どもたちに平等に分割したい
4. わからない

【農業の担い手についてお聞きします】

問 20 後継者の農業従事状況を1つ選んでください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. すでに農業に従事している | 4. 子どもが小さいのでわからない |
| 2. いずれ農業を継いでくれる | 5. わからない |
| 3. 継がせるつもりはない | 6. 子どもがいない |

問 21 あなたの家では女性は、どのような役割を担っていますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 農業経営の中心となっている |
| 2. 労働力の中心的な担い手 |
| 3. 労働力の補助的な担い手 |
| 4. ある部門（作物）について責任をもっている |
| 5. 販売の中心となっている |
| 6. 簿記や帳簿の整理を担当 |
| 7. 直売の販売を担当 |
| 8. 農業にかかわっていない（家事、他の仕事など） |

問 22 今後の農業の担い手や労働力について、あてはまるものを2つまで選んでください。

- | |
|----------------------|
| 1. 後継者が中心となる |
| 2. 自分たちでがんばる |
| 3. パートやヘルパーを雇う |
| 4. 機械化による省力化を図る |
| 5. 非農家やボランティアの協力を得たい |
| 6. 労働力に見合った生産方法を考える |

問 23 市民による援農（農作業の手伝い）について、あてはまるものをいくつでも選んでください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 経験があり、熱心な市民なら農作業を手伝ってほしい |
| 2. 草取りなど補助的な作業なら手伝ってほしい |
| 3. 直売所の販売などを手伝ってほしい |
| 4. 市民との交流になるので、積極的に対応したい |
| 5. 特に必要がない |

【農業経営についてお聞きします】

問 24 あなたは、今後の農業についてどうお考えですか。1つ選んでください。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 将来も継続させたい | 4. 継続は難しい |
| 2. 自分の代は継続したい | 5. その他 |
| 3. 当面は続けたいがわからない | (.....) |

問 25 今後、農業を行っていく上で困っていることはありますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 宅地化が進み通風や日照、水はけが悪くなっている |
| 2. 宅地化が進み農薬散布が十分できない |
| 3. 空き缶やゴミなどの不法投棄が多い |
| 4. 犬や猫等による被害が多い |
| 5. 鳥獣による被害が多い |
| 6. 後継者や担い手がない |
| 7. 農業利益が労働の割には少ない |
| 8. 税の負担が重い |
| 9. 堆肥や畜産の臭いで苦情を言われる |
| 10. 野菜や剪定枝の残さの処理が難しい |
| 11. その他 (.....) |

問 26 今後の農業経営の方向について、あてはまるものをいくつでも選んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 農地を拡大する または、家畜の頭羽数を増やす |
| 2. 農地を縮小する または、家畜の頭羽数を減らす |
| 3. 施設利用による高収益を目指す（施設の拡大） |
| 4. 新技術の導入によって利益を向上させる |
| 5. 有機、減農薬、無農薬栽培に取り組む |
| 6. 省力型の農業に取り組む（機械・設備の導入） |
| 7. 土づくりを重視した農業に取り組む |
| 8. 市民農園、家族農園などの市民的利用を図る |
| 9. もぎ取りや体験農園などの観光農園的利用を図る |
| 10. 少量多品目の農業を進める |
| 11. 多量少品目の農業を進める |
| 12. 農作業の委託や市民の支援を募る |
| 13. 商品開発や農産物加工によって特産品をつくる |
| 14. その他 (.....) |

問 27 営農の状況についておたずねします。

(1) あなたの現在の営農類型はどれですか。次の中から1つ選んでください。

1. 露地野菜が中心
2. 露地物と施設栽培を組み合わせた野菜が中心
3. 野菜と苗木（緑化木）を複合した営農が中心
4. 野菜と花卉（鉢物と切花）を複合した営農が中心
5. 野菜と茶（生葉）を複合した営農が中心
6. 稲作と野菜を複合した営農が中心
7. 植木（花木）と苗木（緑化木）が中心
8. 乳用牛の酪農が中心
9. 飼育豚（肉豚）等の養豚が中心
10. 養鶏（採卵成鶏）等が中心
11. 茶（生葉）および加工（製茶）が中心
12. シイタケ等林産品が中心
13. 果樹等が中心
14. その他（.....）

(2) 今後、めざしていきたいと思う営農類型を次の中から1つ選んでください。

1. 直売や契約出荷を主とした多品目の露地野菜経営
2. 市場出荷を主とした多品目の露地野菜経営
3. 直売や契約出荷を主とした露地・施設野菜経営
4. 市場出荷を主とした露地・施設野菜経営
5. 野菜の大規模栽培を主とした法人経営
6. 消費者との契約栽培や直売を主とした有機農業による野菜経営
7. 直売や契約出荷の露地野菜と体験型農園の複合経営
8. 小売り販売を主とした生葉・製茶の一貫経営
9. うめ、しいたけ、ゆずなどの地域の特性を生かした複合経営
10. 花壇用苗木、花木の市場出荷を行う経営
11. 緑化木を主とした植木経営
12. ツツジ、サツキなどの緑化用苗木生産を中心とした植木経営
13. 野菜と畜産の複合経営
14. 果樹と観光農園の複合経営
15. 酪農と自家製乳製品の直売の複合経営
16. 高品質化をめざした畜産（酪農、肉牛、養豚、養鶏）経営
17. トウキョウXの契約生産を主とした一貫経営
18. その他（.....）

問 28 認定農業者制度について、あてはまるものを1つ選んでください。

★認定農業者制度★

農業者が、自ら作成する農業経営改善計画（5年後の経営目標）を市町村が認定し、その計画達成に向けて様々な支援の措置を講ずる。

1. 認定を受けている
2. 知っており認定を受けたい
3. 知っているが認定を受けていない
4. 聞いたことはあるが内容はわからない
5. 知らない
6. その他

問 29 エコファーマーについて、あてはまるものを1つ選んでください。

★エコファーマー★

持続農業法にもとづき、堆肥使用や減農薬など環境にやさしい農業の「導入計画」を作成し、知事の認定を受けた農業者。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 認定を受けている | 4. 聞いたことはあるが内容はわからない |
| 2. 知っており認定を受けたい | 5. 知らない |
| 3. 知っているが認定を受けていない | 6. その他 |

問 30 あなたの家の年間の農業所得とそれ以外の所得（勤労所得、不動産所得、年金収入など）を、それぞれ1つ選んでください（所得は、収入から専従者給与以外の必要経費を除いたものです）。

【農業所得】	【それ以外の所得】
1. なし（自家用のみ）	1. なし
2. 50 万円未満	2. 50 万円未満
3. 50～100 万円未満	3. 50～100 万円未満
4. 100～300 万円未満	4. 100～300 万円未満
5. 300～500 万円未満	5. 300～500 万円未満
6. 500～1,000 万円未満	6. 500～1,000 万円未満
7. 1,000～3,000 万円未満	7. 1,000～3,000 万円未満
8. 3,000 万円以上	8. 3,000 万円以上

問 31 今後の農業所得の目標額を1つ選んでください。

1. 自家用のみ	4. 300～500 万円未満	7. 3,000 万円以上
2. 50～100 万円未満	5. 500～1,000 万円未満	
3. 100～300 万円未満	6. 1,000～3,000 万円未満	

問 32 あなたの家で、農業経営で実行していることは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

【現在】	【今後】
1. 労働時間を定めている	1. 労働時間を定めたい
2. 休日を定めている	2. 休日を定めたい
3. 給与を定めている	3. 給与を定めたい
4. 後継者等と作業を分担している	4. 後継者等と作業を分担したい
5. 後継者等に、ある部門の責任を持たせている	5. 後継者等に、ある部門の責任を持たせたい
6. 一年間の経営目標をたてている （販売額・所得など）	6. 一年間の経営目標をたてたい （販売額・所得など）
7. パソコンを活用している	7. パソコンを活用したい
8. とくになにもしない	8. とくになにもしない
9. その他（.....）	9. その他（.....）

【有機、減農薬栽培についてお聞きします】

- 有機栽培とは：農産物の生産過程等において、化学合成農薬、化学肥料および化学合成土壌改良資材を使用しないで3年以上経過し、堆肥等による土づくりを行った圃場での栽培方法
- 減農薬・減化学肥料栽培とは：化学合成農薬と化学肥料の双方を慣行（農薬使用基準等）の使用回数の5割以下の栽培方法

問 33 有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培についてお聞きします。

- (1) あなたは有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培に関心がありますか。2つまで選んでください。

1. すでに有機栽培を行っている
2. すでに減農薬・減化学肥料栽培を行っている
3. 減農薬・減化学肥料栽培まではいかないが、慣行使用回数よりもひかえて栽培している
4. 以前はやっていたが今はやめている（理由：_____）
5. 関心はあるがまだ行っていない
6. 関心がない
7. その他（_____）

- (2) (1)で1から5とお答えされた方におたずねします。有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培の問題点についてどのようにお考えですか。2つまで選んでください。

1. 有機物（堆肥等）が手に入らない・入りにくい
2. 手間や費用がかかる
3. 収量が低くなる
4. 虫食いなどで売れないなど心配である
5. 販売の際、特に価格面で評価されず、メリットがない
6. 周辺と一緒に行わないと難しい
7. その他（_____）

- (3) (1)で1から5とお答えされた方におたずねします。有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培でどのような努力をされていますか。2つまで選んでください。

1. 堆肥等を使用して、土づくりに努力している
2. 農薬の使用を少なくしている
3. 化学肥料の使用を少なくしている
4. 農薬・化学肥料を使用していない
5. 農業用資材を活用し、病虫害防除を行っている
6. 有機栽培や減農薬栽培は行っていない
7. その他（_____）

- (4) (1)で1から5とお答えされた方におたずねします。今後、有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培野菜の販売促進に必要と考えるものを1つ選んでください。

1. 官公庁による消費者への情報提供
2. 農家個人による情報提供（ホームページ等による）
3. 直売施設における掲示
4. 販売する野菜等に表示
5. その他（.....）

- 問 34 野菜や畜産の残さ、植木の剪定枝による堆肥づくりについて、あなたはどのようにしていますか。また今後どのようにしたいと考えていますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

【現在】	【今後】
1. 自分で堆肥として利用している 2. 農家で協力し堆肥利用している 3. ゴミとして捨てている 4. 業者に引き取ってもらっている 5. その他（.....）	1. 自分で堆肥として利用したい 2. 農家で協力し堆肥利用したい 3. ゴミとして捨てたい 4. 業者に引き取ってもらいたい 5. その他（.....）

- 問 35 近年、有機性資源を農業分野に循環利用していこうという試みが広がっていますが、生ごみ（処理機械で一次処理したものを含む）を利用した堆肥についてどのようなお考えですか。あてはまるものを2つまで選んでください。

1. 自分で堆肥の材料として利用してみたい
2. 臭いや害虫の発生等の問題が心配されるので、堆肥の材料として利用するには抵抗がある
3. 堆肥（生ごみを材料の一部とした）があれば利用してみたい
4. 堆肥成分バランスや不純物の混入が心配されるので、堆肥として利用したくない
5. その他（.....）

【地域住民との交流やこれからの都市農業についてお聞きします】

問 36 地域住民とのふれあいについて望むことをいくつでも選んでください。

1. 農産物の販売による交流
2. 農産物の調理方法の講習等による交流
3. 農作業への協力、農業体験による交流
4. 地域の行事等による交流
5. 子どもたちの学校農園など学校を通じた交流
6. 市民農園・家族農園の設置による交流
7. 農地周辺の緑化や花の植栽などによる交流
8. まちづくりについての懇談会による交流
9. 関心がない

問 37 都市農業や農地は農産物の生産だけでなく、都市生活の中で様々な役割を果たしていますが、どのような役割が大切だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

1. 雨水の保水や自然、生態系の保全の場
2. 緑豊かな景観
3. 過密化の解消やオープンスペース
4. 環境の保持や防災空間
5. 農業体験や市民農園
6. 子どもの情操教育
7. 季節の変化を感じさせる役割
8. 地表の温度を下げたり大気を浄化する機能

【農業振興についてお聞きします】

問 38 青梅市の農業振興に向けて、以下のような施策を実施してきました。これらの施策について、実施内容・状況に満足できるか、重要だと思うかについて、以下お答えください。項目ごとに、満足度、重要度を1つずつ選んでください。

評価		満足度					重要度				
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
基本方針／基本施策											
1. 安全で多彩な農業生産の推進	1) 認定農業者の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2) 農業経営体の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3) 特産品・ブランド化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4) 環境保全型農業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 広範な担い手の育成・確保	1) 農業後継者の育成・確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2) 女性農業者の育成・確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3) 高齢農業者の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4) 新規就農者等の確保・育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5) 農業関係団体等との連携の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 生産の基本となる農地の保全	1) 優良農地の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2) 生産基盤の整備・保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3) 多面的機能を活用した農地保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4) 農地保全の仕組みづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 魅力ある地産地消の推進と販路の拡大	1) 共同直売所の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2) 多様な直売の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3) 6次産業化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4) 市内外への販路の充実・拡大	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5) 観光事業との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 農の郷づくり	1) 食育の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2) 農業情報の発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3) 多様な農業体験の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4) 多面的機能を活用した農地保全【再掲】	※ 3. 生産の基本となる農地の保全 3) に掲載									

問 39 新たな農業の展開に向けて、民間事業者との連携など、関心のあることは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

1. 観光事業者連携による農業体験・ツアー・農泊などの実施
2. 医療・福祉関連事業との連携による農福連携、健康増進施策展開
3. 交通・輸送事業者連携での流通の仕組み導入
4. 不動産・施設運営事業者等連携による農の空間創出
5. 学校・教育関連事業者連携による子どもたちの教育への参画
6. カーボンニュートラルなど地球に優しい農業による付加価値の向上
7. 食品残渣や廃棄される農産物を活用した堆肥づくりなど環境に配慮した事業
8. その他（.....）
9. 特に関心はない

問 40 今後の農業施策で重視して欲しいものを、いくつでも選んでください。

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1. 有機農業、減農薬・化学肥料栽培 | 17. 学校農園の開設 |
| 2. 土づくり | 18. 教育課程（小・中学校）における農業関連教育の充実 |
| 3. 防鳥網・防薬網の整備 | 19. 観光農園、うね売り等の拡大 |
| 4. 野生動物による被害防止用の柵の整備 | 20. 市民の農作業参加の受け入れ |
| 5. 有害鳥獣駆除の強化 | 21. 青梅市農業のPR・イベント |
| 6. 地域内資源の堆肥化 | 22. 農地周辺に花と緑の植栽 |
| 7. 産地化・ブランド化 | 23. 空き缶・ゴミ投棄の防止対策 |
| 8. 直売所の整備 | 24. 市民の理解を得るための交流会 |
| 9. 協同販売所の開設 | 25. 農業公園の推進 |
| 10. 農業用施設・農業用機械の充実 | 26. 農地の管理指導 |
| 11. スーパーに地場産のコーナーを設置 | 27. 農地の利用集積（売買および賃借）の簡素化 |
| 12. 学校給食への供給 | 28. 生産緑地の集団化 |
| 13. 農業後継者の組織作り | 29. 生産緑地買収請求への積極的な対応 |
| 14. Uターン就農者の技術獲得の援助 | 30. 農業用施設用地の農地課税対策 |
| 15. 畜産の環境対策 | 31. 農作業受託組織の育成とシステム化 |
| 16. 市民農園の拡大 | |

問 41 今後、市民とともに青梅市農業を発展させるためには、どのようなことが必要とお考えですか。以下の欄にご自由にお書きください。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、2月4日（火）までにご返送ください（切手は不要です）。